

# たくさんのご応募 ありがとうございました!

「ふるさと あ<mark>い</mark>かわ イチ推しグランプリ」には、インスタグラム部門258点、ラ ブレター部門207点、合わせて465点のご応募をいただきました。優秀作品の 受賞数は50点を予定していましたが、すばらしい作品が多数寄せられたため、 76点に増やしました。優秀作品は町ホームページに掲載していますが、ここで 一部をご紹介します(個人情報を除き、いただいた原文のまま掲載しています)。

### 【ラブレター部門】

僕の家族に会。てくれないか? そう言われたのは もうちの耳前。

量加車に架ってただり着いたのが続り町でたた。 この長間は風景にドキドキレはがらも高り事を 今後増えています。

者かはずいとろか成のまる。

和はりかあめばあわかんにはってしまいました。 10家と7家でより、多技造も、おう量もの耳動をも とかに越し、社会人となり、親となりました。

實力のが墓の前で、子供や緑露と手を合わせ、 り最路の途中に上りりる最中を食べ、中津川の ぜどらぎに耳を傾け、最中がいいわ」

パか、魚が光・たま」と無移れに笑り姿を 見ると、ある貴もにも食わせてあげたがたといり 刘持为的"溢出生了。

テプレターであて書いた事機の、たけど、おんの気持ちな、あの時のます。 アイカウン 大会、た時に、年取ったね、ママ」とは言わないてね。

僕の家族に会ってくれないか? そう言われたのはもう50年前。 貴方の車に乗ってたどり着いたのが愛川町でした。

この長閑な風景にドキドキしながらも驚いた事を今でも覚えています。 貴方はずっと36歳のまま。私は71歳のおばあちゃんになってしまいました。 10歳と7歳だった子供達も、もう貴方の年齢をとうに越し、社会人となり、 親となりました。

貴方のお墓の前で、子供や孫達と手を合わせ、帰路の途中に土門の最中を 食べ、中津川のせせらぎに耳を傾け「最中おいしいね」「バアバ、魚が光っ たよ」と無邪気に笑う姿を見ると、あぁ 貴方にも会わせてあげたかったと いう気持ちが溢れます。

ラブレターなんて書いた事無かったけど私の気持ちは、あの時のまま。 だから次会った時に、「年取ったね、ママ」とは言わないでね。 (藤沢市 Mさん)

牧き申り世界になり それ以後端院での入記ところですか みなには五年 近路で教術し 羊柱 できるした お見合でかめてないたのす コロナ福の中 あなたかないゆうれた なりかんはっておりるす 時

(愛川町中津

ております。 ・より

妻

えができるようにすること。 今の私にやれることは してはおりません。 きました。 和四十一 ●様 年

「月子推し」の風景にいだされて

今のウェの葬前の平成173年、天内府観が 注む草原に牢塞。風湿は山の遊り、坎か 多く、少々才理を感じお事しさり。 大人な子のでしてい、「ふくある時景から 歌のお展景に、いて頼、今されている 静分に、旅行さまして。

表川大橋と目の橋で結び、中部的 流れ、川の方前には、大丘、昭和・ 平成を学み、静かな雰囲気の中の 語な金のあるい横續異水連門 水源地。川向シンに川北山町四 さ、には、四番新新の風川青か あります。

系の田宇兜も、時代と共に変貌 しましてい、 私の「わり祖し」の この風帯が、 水の世がに どのおうに対け継がれたのか、 されらも 雷に豪され、安らける里で ありまする) 難っております。

「イチ推し」の風景にいだかれて

今から20年前の平成13年、夫の両親が住む半原に転居。周辺 は山が迫り、坂が多く、少々不便を感じる事しきり。

そんな毎日でしたが、ふとある時、家から眺める風景に、心を 癒やされている自分に気付きました。

愛川大橋と日向橋を結ぶ中津川の流れ。川の手前には、大正・ 昭和・平成を歩み、静かな雰囲気の中にも存在感のある旧横須 賀水道半原水源地。川向こうに川北の町並みを一望。まさにパ ノラマの世界。ここには、四季折折の風情があります。

糸の町半原も、時代と共に変貌しましたが、私の「イチ推し」 のこの風景が、次の世代にどのように受け継がれるのか、これ からも皆に愛され、安らげる里でありますよう願っております。 (愛川町半原 Oさん)

コロナ禍の中 リモートでの面会は可能のようですが 院生活となりました。 たは去年道路で転倒し救急車の世話になり それ以後病院での入 まったからです。 お見合で初めて訪れた馬渡橋近く れから五十五年 その日のくることを一日も早くと願っております。 なにごともなくと言いたいところですが あなたが家に帰られた時 その ことだけを考えて毎日がんばつ 元気な私でむか いまだ実現 あな

私達は九州の福岡でお見合し主人の務める厚木

群馬県伊勢崎市からこの地 中津川をかこむ景に、惚れてし 愛川町の半原に嫁いで

30年前和海路专相模川上渡了山山 介山家中省上西… 另一三番和 克丁打出门。 石多百日新加了上中都由至四百公园 いるのできとは… おりてご祷かり いかはずなならと中かしまいのか公園 まといてことがととくは、男にから公園 います。

「ながたみりなく、参川の土水を見ってまるではれた。米や野茶など、本等においく 11にたいております。
「ないな地村のからは、親いや水、周年のからと、高が新い、元地がくいては、ます。一首前は、三増と赤山、明石などに、横幅もかく、あちかころい。たりあいもいたものでした。
異ないが後まな、 東大なりは30mm 株1以は増え Jik 町中和根 Jik326を(じま) お約りなおります

30年前 私の娘を相模川を渡って、山 の方へ嫁がせるとは…どうしたご縁かと 思って折りました。

でも今では孫たちと中津川やあいかわ公 園であそんだことがとても良い思い出と なっています。

嫁ぎ先から届く、愛川の土・水・空気に 育てられた米や野菜など、本当においし くいただいております。

娘の御近所の方々も親しみやすく、同年 の方々と昔の話に花が咲いてしまいます。 一昔前は、三増と葉山、田名などは婚姻 も多く、あちらこちらに知り合いもいた ものでした。

豊かな自然の中で、温かい人たちが様々 な活躍をされ、町も発展されることを心 よりお祈りしております

(相模原市 Sさん)

ありがとうお父さんいつまでも 愛川町角田

が必要ですが、やさしい目で見てくれます。 今は主人に感謝しています。 日愛川町より50周年の花をいただきました。 の近く愛川町へ来ました。50年前の事です。 気づいたのは十数年先の事ですが、 主人はやさしく大きい心でつつんでくれました。 さっそく主人と二人、花の前で写真をとりまし 福岡から来て50年たち、 よくケンカもしました。 今病気になり介護 感がい無量です。 結婚した当 先

は主人に感じ い午たち、風か 近く後川町へ来ました。 私達は九村の福 町より んでくれ お父さん(主人を呼んでいます)いっまでも一緒 ですが、 結婚した当 50 風かい芸里です。 凯 やさしい目で見てくれ ŧ 午の状をいただきま していま で写真とどりました。 した 国 でお見合し主ななのる 眄 気づいたのは十 **†**. かず新の事です。 よくケンヤ 主人はやさしく大き 今病気になりな漢か した ŧ ベチす。 福園 数 さっそく主人 "天日 4 原本の ありか した かな来る 失の事 7. 5 光文

## 【インスタグラム部門





skdrea6166

ここは私が小さい頃におばあちゃんとよく散歩した スポットのひとつです。

小さかった私にとって蚊柱や虫がすごい場所であ まり好きではなかったですが、今改めて散歩して みると、まるで京都の嵐山を思わせるような景観 です

晴れた日には風に揺れる葉ずれの音や木もれ日が 心地良く、まるで全身が清められるようです。

日々の仕事の疲れも緩和され、週末になるとリラッ クス効果を求めて、おばあちゃんを思い出しなが ら散歩にでかけます。

近所にこんなに風情が良いスポットがあるなんて、 贅沢ですよね。





usanponamazu

結婚を機に愛川町に来て20年以上。

駅のない町に住むことは不安もありましたが、車 中心に生活になり、今まで行かなかったような場 所にもたくさんいくようになりました。子どもたち とは良く散歩にも行きます。近所でもカエル、お たまじゃくし、ドジョウ、バッタ、トカゲ、鯉など たくさんの生き物に会える自然がまだ残る情景は、 とても良い。

子供たちは自然の中で伸び伸び育っています。 お気に入りは愛川公園のつつじの丘の上の展望広 場で、寝転ぶと喧騒から解放され、癒されます。 子供たちの中に綺麗な情景が良い思い出として残 るといいなぁと思います。







makkycat2021 神奈川県 愛甲郡

あいかわイチ推しグランプリ♥

愛川町に越して来て、はや11年。 3歳だった長男も、中学卒業となります。 下に3人弟妹が産まれ、四児のママとなりました。 そんな私にとって、愛川町と言えば中津川です。 夏はもちろん、春も秋も冬も子ども達の遊び場です。 夏祭りの八雲祭では、お神輿のお浜降りもありますね。 今年はコロナ禍で、キャンプや BBQ もできない状 態でしたが、そのおかげと言うと申し訳ない気もし ますが、天気が良い日は毎日のように川遊びを楽し みました。

自然が豊かで、たくさんの鳥や動物、虫に出会えま すし、山に囲まれて、四季の移り変わりを身近に感 じることができるのが、本当に大好きです。 これからも、そんな自然を守りながら、ゆっくりと未

のんびりと、優しく過ごせる町に!

来を築いて行って欲しいです。





lovesukekun

私にとって愛川町はルーツです。 祖父母も母も愛川町出身。 祖母は、101歳まで愛川町で生まれ育ち過ごしました。

祖母とは愛川町の色々な所へ行きました。 その中でも、あいかわ公園へは足の弱った祖母ともお 散歩として訪れていました。

駐車場へ停め 15~20 分は歩きますが、 鳥のさえずりを聞きながら、緑が綺麗な広場や山々を 抜け、石小屋ダムに到着すると祖母はいつも、「ここ は昔は綺麗な中津川渓谷で石小屋が作れるくらいの 大きな石がたくさんあって、ワラビも採れたんだよ」 と祖母の見てきた景色を話してくれました。

大沢の滝を抜け、宮ヶ瀬ダム下に来ると恐怖を感じる くらい水の力を感じます!! 宮ヶ瀬ダムを真下から見上げることが出来ます。

祖母が見てきた愛川町の景色の移り変わりや、祖父に 関しては、戦時中の話も聞きました。

愛川町の先人達が守り遺してくれたこの綺麗な水、緑、 空気、景色、歴史や伝統を今を生きる私たちが守って いけたらと思います。

愛川町は思い出も自然もマイナスイオンもたくさんが 詰まっている宝箱~\(^o^) / ↔

長すぎちゃったけど大丈夫かな♪





 $\square$ 

ayakochiii\_800 愛川ふれあいの村

そろそろ紅葉が楽しみな季節になりますね♡ 今年はいろいろ行けたらいいなぁ☆

写真はコロナ前の愛川ふれあいの村!

紅葉の時期になると黄色の絨毯がとっても美しく道いっぱいに溢 れ、空を見上げれば赤やオレンジや緑の葉が青空によく映え、 木漏れ日がキラキラ輝いて黄色の道を照らします。

子供の頃からこの場所で遊んできた私は身近になりすぎて、ずっ とずっとこの美しさに気づけずにいました。カメラを始めてファ インダー越しに見るこの場所は何処をどう切り取っても絶景で、 改めて近くにこんな美しい世界が広がってるなんて素敵な場所に 住んでるんだろうと思いました!春は桜がたくさん咲いて、夏は 緑のコントラストが眩しくて、冬は銀世界が広がる時もあります! そして秋は今年もはらはら舞う黄色や赤やオレンジの美しい世界 が楽しみです 😊

早くマスクを取って深呼吸出来る日々が来ますように



 $\square$